



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(。)]

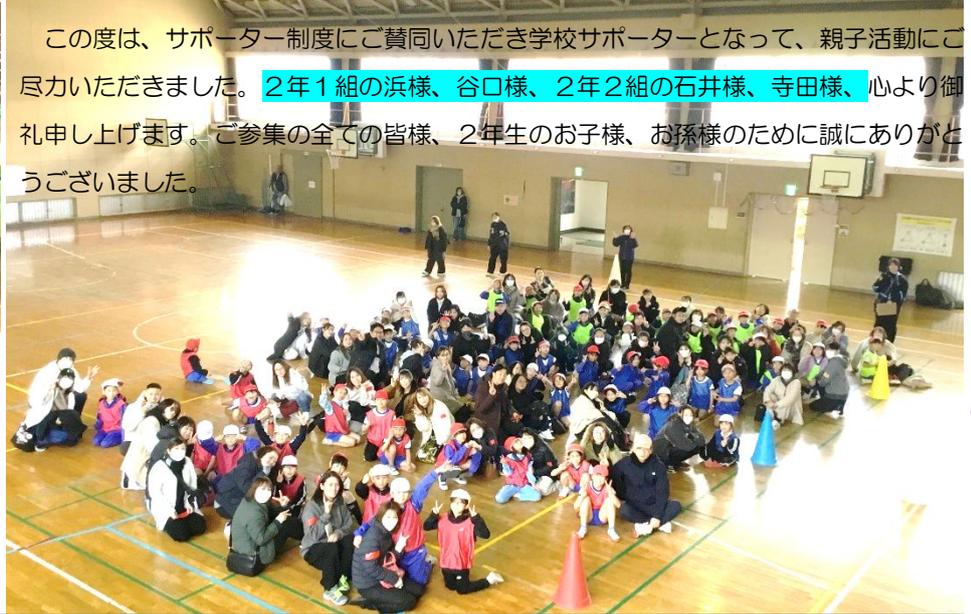
本日 (1/23) 13時、2年生 PTA親子活動が行われました。

【親子ふれあいニコニコドッジボール大会】が 開催されました。

寒さ厳しい中ご参会くださりまして誠にありがとうございました。



寒い中、感謝しかございません(#^_^#)



この度は、サポーター制度にご賛同いただき学校サポーターとなって、親子活動にご尽力いただきました。2年1組の浜様、谷口様、2年2組の石井様、寺田様、心より御礼申し上げます。ご参集の全ての皆様、2年生のお子様、お孫様のために誠にありがとうございました。

本日14時、6年生の児童の皆さんと保護者のみなさんが、今全国的に

注目の飯塚市立飯塚第2中学校さんでの入学説明会に参加されました。

先日1月6日の飯塚市教育委員会さんとの定例校長会議の中で次のようなご報告がありました。

飯塚第2中学校さんは、AIドリル「Qubena（キュピナ）」の提供元である、(株)COMPASSさんより、今年度9月までのAIドリル活用状況調査で、**全国上位3%に入るといふ快学をなしとげられた優秀校**であり、この**表彰**を受けています。選出条件としては児童生徒1人当たりの月間平均回答数が

500問を超えている。これは、週5日間で1日あたり、**約25問**をコンスタントに説いている計算になります。飯塚第2中学校さんが学校総体で**ICT**（インフォメーションコミュニケーションテクノロジー）が「**日常的な学びのツールとして定着している証**」であるという**称号**をあたえられた先進的な学校として全国で輝かれています。

P.S.飯塚市内の中学校さんでは、飯塚第2中学校さんのみが表彰を受けています。小学校種では、飯塚市内で表彰を受けられた学校は鯉田小学校さん、菰田小学校さん、額田小学校さん、大分小学校さん、穂波東小学校さん、内野小学校さん、上穂波小学校さんが表彰をされています。おめでとうございます。本校は、残念ながら全国上位3%には入りませんでした。管理画面（キュピナマネージャー）を活用した教師の支援と指導面では、本校の先生方は、だれ一人取り残さないデータに基づく実態把握には実績があります。正答率のリアルタイムな把握をいつもされており、児童のつまずきを素早く察知している面では**No1**という自負があります。量より質で現在活用している所ではございますが、体力向上のジャンルでは、過負荷の原則がありますように、負荷はかけないと体力は尽きませんので学力も相関がありますから今後、問題量も増えていくことと期待しております。スポーツの世界では、バスケットでもサッカーでも駅伝でもマラソンでも得点や、タイムや記録の提示があります。現在の状況を先生方や保護者の方にお知らせすることは重要なことです。P.s.全国的にも優秀で、学力面も体力面も文武両道で、学校総体としても素晴らしい飯塚2中さんに6年生が立岩小のみなさんとともに年明けてすぐに入学説明会に行けたということは**マインドフルネス**的に大変ありがたいことでした。（**今を生きる**子ども達にとって、明日への希望が湧いた一日でした。）平田校長先生並びに岡松教頭先生をはじめ、関係のすべての先生方、生徒会の皆様、保護者の皆様、参加した児童の皆さん引率された先生方誠にありがとうございました。





【ニコニコペースで健康に良いはしりを：持久走の学習スタート】

今年度も、豊かなスポーツライフを身に付けるためのペース走にチャレンジします。

昨日、感動の「10歳を祝う会」をされた4年生が、来週からの持久走の学習に魁て、ニコニコペース走に学年でチャレンジされていました。立派で勇走な姿でした。



本校の持久走の学習では、順位を競いません。子ども達が、ニコニコ会話しながら走るペースで、自分の目標の心拍数のゾーン（個人の最大酸素摂取量の60%～80%：学校の教職員で計算します。【運動処方：研究者 富山大学山地啓二教授^①：大修館書店】）でたのしく走れることをめあてにもたせて運動にチャレンジさせます。本校では、『お子さんの年齢がいくつになっても、ニコニコペースで走ることに抵抗がなくなって「走る楽しさ」を持ち続けてほしい』という私をはじめ全職員が思いや願いをもって「持久走の学習」取り組みます。子ども達は終わった後、教師の合図で15秒の心拍数を脈でとり、換算表に記録して自分の走りが、健康に良い走り（全力の60%～80%）だったかを振り返ります。学習のめやすの距離として低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は6分間としています。（体育的行事部の柴田先生、平野先生をはじめ体育委員会の児童の皆さんには今後大変お世話になります。）

p.s.「先生！わたし脈が1分間196拍でした。」という子には、「**心臓が破裂するからペースを落としましょうね。**」や、また別のお子さんは「脈が96でした。」というお子さんがいて、「**歩いてもいないのに低い**ですね～。何か習ってますか？」と尋ねますと、「スイミングとバスケしてます。」と回答がきましたので「なるほど、あなたは**スポーツ心臓**だからもう少しペースを上げていいですよ。きつくなかったでしょ。」「はい。そうします。」と笑顔で応えて2階へ上がっていかれました。昔のように、決してお子さんに「1位になれ」とかいう必要はないのです。むしろ反動で言われた子のほとんどが、走りをやめてしまっている方が大半です。今は、医学的に運動させることがベストなのです。いい例が、十分な**水分補給**でございます。ご理解のほど何卒宜しくお願いいたします。

今週の「ありがとうございます。」のコーナーです。

